
武偵高deミッショソ！

ほむら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

武偵高だめミッショーン！

【Zコード】

Z6561X

【作者名】

ほむり

【あらすじ】

とあるところに、少女がいた。

少女の名前はルビ。

ルビは小6でありながらもインターネットで武偵高に入る。

そしてこの作者の作品は駄文です。というか駄文しかありません。それでもいい人はどうぞ。しかもこれは気まぐれで書かれています。なのでいつ連載が止まるかわかりません。しかも作者はこれがデビュー作となるものです。期待はしないでください。ここ重要！期待はしないでください。期待はしないでください。

重要なことなのでもう一度聞こえ（（（（（（（（

(1) ものに対する意図（前書き）

これはフィクション！
存在しないよ！！
なお、ホラー苦手な人はやめとこうね

(一) やの田て宿る意思

とある晴れた日のこと。

高層ビルの屋上に一人の少女が立っていた。

少女の名前は新藤瑠美。
しんとうるみ

(以後瑠美はルビと書きます)

彼女はある目的を果たす為に長野から東京に来た。

そして武蔵高にインターナンで入るのだ。

* * *

今日は武蔵高に入る日だ。

やつぱり、インターナンではいるため、緊張はします。

そして私の最大の悩みは勉強。

もともと私は勉強が得意ではないし、インターナンではいるため、

勉強が小6で止まっている。

なので高校の普通科授業ではついていけないだらう。

(やつぱり自分でやるとかしかないな・・・)

先生の方も「知しているので、授業で述べられる事はないだらう。

(がんばるわやなー・・・・)

と、こんな事を考へてる間に話は進んでたらしく、

先生が「入ってきて」、といつてのが聞こえた。

緊張を表に出でながら教卓までたどり着く。

「じゃあ、自己紹介どうぞ~あ、最初に言つておくわね。

」のナレーションだと「」とをわすれずに、「ね?」

先生がそつこいつと周りがざわめいた。

何を言つてゐかは分からぬが、悪口ではなさそつなので、ほつとした。

「しつ、新藤瑠美です!ええと、こつぱい分かんない事も有りますけど、よろしくお願こします!」

ペコッ

とつあえず、第一印象は良い物になつたらしい。

そのまま授業は進み、一時休みになつた。

*

*

*

「はあ・・・・つ、疲れたあ。」

一時休みは質問攻めだった。息をつく時間も『えられないほど』。

いまは強襲科塔で練習中。
アサルト

(あこづらを漬せる様に、頑張らなきや・・・・・)

ぎつぎつと歯軋りをして、的を狙つ田には集中の色、憎しみの色が宿る。

蘭豹「今日の授業は終わりや——死にたくなこやつはひとつと帰れや!」「わっ!強襲科こわっ!……なに此処!?!?

まあ、死にたくないのでも付けて、帰ろうと門までこへ。

「あ、ルビーおこわよーもひつー!」

するといじては強襲科ランクの神崎・H・アリアアと

探偵科Eランクの遠山キンジがいた。

ちなみに私は強襲科ランクである。

アリアアはアニメ声をあげてててて、といひに走つてくる。

「おやいって・・・・え?」

私、何かアリアと約束したつけ??

「何言つてゐるの？当たり前でしょ！一緒に帰るから、待つてたのよ？」

アリアはそういうて、かわいらしく頬をふくう、とふくらませる。

「え・・・つ！待つててくれたの？・・・ありがとっ！」

ちなみにアリアーとは一時休みと雇休みで超仲良くなっている。

帰るわよ！ホーリー・ヨンシモトハビヒコでない！

「アリア、そつちは野子寮じや・・・?」

私がそういうても、アリアはどうかしたの、みたいな顔で見てくるだけ。

「アーティストは？」

「こやいや、少なくとも普通ではない気がするよ？それに、キンジはともかく、

「私たちには女子りよ」「何言つてゐるの。先生から聞かなかつた?ルビはキンジと同室よ?」・・・え?」

תְּנִזְנֵן? (. ,) /

「嘘でしょ・・・？」

「本当よ？先生曰く『女子寮もつ開いてないからあ～』」

「よし、先生を今度潰そつ」

「ちゅー！？ルビー、何處やかし詰ついるのー？？」

「アリアの発言のせいで」

「~~~~~つールビーとつあえず今日は帰るわよつーあたし
もこるからー」

「え？ほんと？じゃあ・・・・いいかな・・・・？」

「「いいんだ・・・・。」「

え？アリアがいるなら大丈夫だと思つし・・・・疑問はビリにあるん
だろ？

「じゃ、帰りつか。」

「うふー。」

「・・・。」

とこの事で一寸間、終了。部屋に帰つてからのことは次回……である。（作者の囁き）

オリキャラ紹介（前書き）

最近思つこと。

「読者がいないのに頑張る必要はあるのか」

悲しきことですねー！（泣）

オリキャラ紹介

実は2話もあつたんですが、どうがどうなったのか、
消えてしまったというか1話が載つちゃって同じ話が2個で重な
つたからというわけで

今日は小説にはほとんどあるキャラ紹介にしたいと思います～！

名前

新藤瑠美
しんとう るび

あだ名（呼び名？）

ルビ、ルビちゃん、るびゅん（理子特有）

身長

145？

容姿

東方Projectの、ルーミアの髪が銀色で目が紫色な感じ。
(ルーミア知らない方は検索へどうぞ!)

性格

困つた人を見かけるとすぐに助けに行こうとする。

他人のために自分を犠牲にする。

仲間を傷つける奴には容赦はしない。

趣味は読書とかの割とおとなしめな物。

でも普段溜め込む分、発散すると物凄い戦闘狂になるw

嫌いな食べ物はキノコと貝

他人事には敏感、自分のことには鈍感である。

秘密

実は〇〇。

けど普段は隠している。

できれば隠し通す気。

武僧ランク

Sランク。

アリアと同等かそれ以上。

秘密の〇〇を開放するといやんなて雑魚のよつて感じじるほど強く
なる。

(つまりはチート)

オリキャラ紹介（後書き）

〇〇を隠してすみません！

のちわかると思うんで本当にすみませんvv

知つたら驚愕つてやつですね！！

面倒くさいんで2話でバラしますww

それでは2話目もよろしく！！

(2) ヒルダとかがプラドいるんだもん、いてもいいよね。(前書き)

作者は・・・文才がほしい!

「いのりの御利益がござつたて禮不欠だ。」

(2) ヒルダとかがフランだもん、いともこゝよ。

あのあとキンジ兼私（と何故かアリアもこる）の部屋についたんだが。

ついたん・・・・だけ・・・・ビ。

「・・・・(。 。 .)」

「・・・・(怒)」

『アアアアアアアウウ・・・・ウ?』

そこには？化け物？がいた。

（アリア視点）

私はルビを迎えた後、一緒に部屋へ行った。

「そういえば、ルビの荷物って結構多いわね～。」

「ひ、うん。ごめんね？手伝つてもいいやつて・・・

「なに。気にするな。これは俺たちが好きでやつてこる事だからな。どうアリア？」

「ちがうよーー。」

「あ、ううへ。」

「やつよ、ハイ、コレ、カードキーね。」

「ライちゃんと待てアリア？何でお前が俺の部屋のカードキーを平安と持ってるんだ？」

「あ、こましょ？重いから早く降ろしたいのよ。」

「無視かよー！？」

「ぐすくす・・・二人とも、仲いいね？」

「なつ！／＼ち、ちが【ドゴオオオオンツー···】なつ、
何！？」

話している最中に爆発音のようなものが聞こえた。しかも、キンジの部屋から。

「！？な、何事？」

「とにかくやばそつだ。 部屋が。」

部屋なのね。まあ私もいろいろ置いてるし、困るわね。

「ひぐつッ！－？な、何よ今のうめき声！？B級ホラー！？」

ななんなんのよおつ！？ゾンビいっ！？ふえええ・・・！

そんな私とは対照的にルビは額の所にぐるり血管が浮き上がつて元をヒクヒクさせている。

「あんの……出来損ないめエ……！ふざけた事を、後悔させ
てヤル……！」

正直に言ひ。

ルビは怒らせてはいけません！！ルビは怒らせてはいけません！！

ものすごい怖いですから。

そんなことを思つていると、ルビが「必ず直しますので。・・・本当スミマセンッ！」といつて、ドアをガチャッと開け、入つていつ

た。その後に私たちは続いて歩く。

リビングを見るとゾンビがいた。

ムツヨビの牧少翁

「ここの何してくれてんだ馬鹿がアアアアアアアツ！――！」

ベシシシシシ---

ルビの叫びですべての窓・鏡にヒビが入った。
するとなんといつのもにか。あのゾンビが見事なD.O.G.E.Z.Aをしていた！

『スマセントラッ！あの世界では消滅しそうになつたんです！だから・・・だからあつ』

みるとゾンビが日本語で謝ったあと言い訳してた。

「うつさい！！」の世界でゾンビは非常識なの！第一物を破壊してんなっ！俺が面倒だろおーー？お前はそんなに死にたいかっ！！死

『そ、それって死にたくなかったら一生正座してうつて事ですよね
！？んな外道な！』

「それが嫌なううととの姿に戻つて部屋を直せ……！」

『はい、いっ！』

「…………なんじゃ」「つやあひーー？」

化け物……ゾンビを従わせるルビにびっくりなアタシとキンジ
なのだった。

(2) ヒルダとかがフラドにいるんだもん、いともこぶな。 (後書き)

ああああああああつ！？

の秘密にこじで出すつもりだったのに！？

なんことだ・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6561x/>

武偵高deミッション！

2012年1月8日18時23分発行